



週間情報



No.0720

発行日 令和7年6月3日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-4500-6622

両会の動き

◆ 第77回全国消防長会総会を開催

全国消防長会

令和7年5月30日（金）、広島市の広島国際会議場「フェニックスホール」において、全国の消防長及び消防関係者が一堂に会し、第77回全国消防長会総会を開催しました。

総会における議案審議事項、報告事項などは、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び令和6年度収支決算について
- 第2号議案 令和7年度事業計画（案）及び令和7年度収支予算（案）について
- 第3号議案 令和8年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和7年度及び令和8年度全国消防長会役員の改選について
- 第5号議案 マイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）に係る経費の徴収について
- 第6号議案 「全国消防長会会報」の電子化について
- 第7号議案 第78回全国消防長会総会の開催について

【報告事項】

- 1 一般財団法人全国危険物安全協会に対する消防機関支援業務の更なる支援協力依頼について
- 2 「消防士の有害物質曝露に関する基礎的調査と適切な予防措置に関する研究」への協力について
- 3 令和7年度「救急車適正利用PRポスター」のデザインの決定について
- 4 「第28回日本臨床救急医学会総会・学術集会」及び「第34回全国救急隊員シンポジウム」の開催について
- 5 第34回アジア消防長協会総会の開催日程等について
- 6 第54回全国消防救助技術大会の開催について
- 7 一般財団法人全国消防協会消防団体保険事業の現状と推進状況について

【決議】

第77回全国消防長会総会決議について

【消防庁見解】

「最近の消防行政をめぐる動向について」

消防庁総務課長 笹野 健 氏

【配布資料】

- 1 令和6年度消防行政相談について
- 2 第53回全国消防救助技術大会のご案内について
- 3 市町村の消防の広域化等の進捗状況について
- 4 一般財団法人全国消防協会の賛助会員の紹介について

令和8年度国の予算概算要求に関する要望について（抜粋）

近年では、気候変動に伴う記録的な猛暑や豪雨、台風、降雪といった自然災害が全国各地で発生しているほか、埼玉県八潮市でのインフラの老朽化に起因する道路陥没事故や、岩手県大船渡市や岡山県岡山市、愛媛県今治市での大規模な林野火災など、潜在的な災害のリスクが顕在化してきている。また、南海トラフ地震については、発生確率が引き上げられたことに加え、被害想定も見直され、その発生が切迫したものとなっており、これら災害への対策は急務となっている。

国においては、国土強靱化施策を加速化・深化させるため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に続き、「国土強靱化実施中期計画」が策定され、今後重点的に取り組むべき施策が示され実施することとなっている。

また、「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」が3月に改定され、登録目標隊数の増強、機能強化に向けた部隊の創設、能登半島地震等の教訓を踏まえた部隊運用が強化されるなど、国を挙げた防災への取り組みが進められている。

全国の消防本部においても、激甚化・頻発化する自然災害から国民の生命、身体、財産を守り、国土強靱化の取り組みを進めていくために、消防施設、車両・装備、情報通信の充実、消防団の機能強化、救急活動におけるDXなどを強力に推進しなければならない。

しかしながら、超高齢・人口減少社会の進展による社会保障費の増大により地方の財政の硬直化が顕著となる一方、物価高騰への対策などにより地方財政は大変厳しい状況である。

については、国による一段の地方財政への支援と地方公共団体の実情に即した制度の改善・調整が図られるよう、次の事項について全国消防長の総意をもって強く要望する。

1 地方債の充実について

措置期限を迎える緊急防災・減災事業債の期限を延長すること

2 国庫補助事業の充実・見直しについて

(1) 国土強靱化実施中期計画に基づき実施される各種施策の実施に必要な予算額を確保すること

(2) 大規模林野火災に対する消防防災力の充実・強化に向けて財政措置を講じること

(3) 消防防災施設整備費補助金及び緊急消防援助隊設備整備費補助金について、実勢価格の動向を踏まえた補助基準額の検討及び必要な予算額の確保に取り組むこと

(4) 消防団設備整備費補助金及び消防団の力向上モデル事業にかかる予算額を確保すること

3 消防防災分野におけるDX推進事業への財政措置について

実証事業終了後もマイナ救急に対する財政措置を講じること

4 緊急消防援助隊活動費負担金事務の見直しについて

地方公共団体における緊急消防援助隊活動費負担金事務の負担を軽減すること

5 地方交付税の所要額の確保について

今後ますます増加する消防需要を地方財政計画に反映させ、地方交付税も含めた必要な一般財源総額を確保するとともに、地方交付税の所要額を的確に算定すること



【開会式：吉田会長挨拶】



【議長：貞森広島市消防局長】

決 議

近年、気候変動の影響により激甚化・頻発化する風水害や、大規模地震の発生が危惧される中、昨年は元日から最大震度7を観測する「令和6年能登半島地震」が発生し、建物の倒壊や津波、火災により甚大な被害を及ぼし、多くの尊い人命が失われた。さらに8月には宮崎県日向灘を震源とする最大震度6弱の地震が発生したことにより、南海トラフ地震臨時情報が初めて発表されるなど、改めて我が国が地震大国であることを思い知らされた。

また、集中豪雨、台風などの自然災害による人的被害や住宅被害が各地で発生し、特に9月の西日本から東北地方を中心とした記録的な大雨では、石川県能登地方で生じた土砂災害等により多くの尊い命が失われるなど、甚大な被害が生じた。加えて、本年2月には岩手県大船渡市において、約3,370haを焼損する平成以降、最大規模の林野火災が発生し、消火活動に困難を極め、鎮火まで長期間を要するものとなった。

こうした大規模災害への備えとして、災害対応能力の向上を図っていくことはもちろん、災害現場や訓練等における消防職員の死傷等の事故を防止するため、安全管理マニュアルの徹底など組織を挙げての安全管理対策の更なる推進が必要である。

さらに、救急業務については、高齢化の進展や記録的猛暑、インフルエンザの流行等の影響により、出動件数が過去最多を更新するなど、救急需要が高い水準で推移している。

防災・減災に対する国民の関心が高まる中、我々消防機関は、地震・風水害・火山噴火等の自然災害、危険物火災などの特殊な災害や事故への対応はもとより、昨今の世界情勢の不安定な状況を踏まえた、緊急処理事態への対応と備えとともに消防防災体制の更なる充実強化が一層強く求められている。また、阪神・淡路大震災から30年の節目の年を迎え、震災の教訓を確実に次代へ継承していく必要がある。

全国消防長会は、地域住民が安心して暮らせる災害に強い安全なまちづくりの実現に向け、消防防災行政が直面する諸課題に対し、さまざまな業務の高度化・効率化に向けたDXの推進などを通して、消防活動能力の向上や消防防災体制の充実強化を図るため、次に掲げる項目を重点として事業を推進するものとする。

一、震災・水災等大規模災害対策の推進

一、消防職員の安全管理対策の更なる充実

一、消防広域応援体制の充実強化

一、消防の広域化及び消防の連携・協力への対応

一、救急搬送体制の強化、救急業務高度化への対応及び市民等への応急手当の普及促進

一、消防救急無線の運用に係る諸課題及び緊急通報を取り巻く情勢変化への対応

一、防火対象物等の防火・防災安全対策の推進

一、危険物施設の事故防止対策の推進

一、消防職員の処遇改善及び女性の活躍推進

一、消防・救急需要に的確に対応した消防職員の確保及び消防装備等の充実

一、情報管理システムを活用した情報共有体制の充実強化

以上、全国消防長の総意をもって決議する。

令和7年5月30日

第77回全国消防長会総会



【次期開催地：伊藤名古屋市消防局長】



【決議：橋口大阪市消防局長】

◆ 全国消防長会常任理事会を開催

全国消防長会

令和7年5月29日（木）、広島市の広島国際会議場「ヒマワリ」において、常任理事会を開催しました。

常任理事会における議案審議事項、報告事項などは、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び令和6年度収支決算について
- 第2号議案 令和7年度事業計画（案）及び令和7年度収支予算（案）について
- 第3号議案 令和8年度国の予算概算要求に関する要望について
- 第4号議案 令和7年度及び令和8年度全国消防長会役員の改選について
- 第5号議案 マイナ保険証を活用した救急業務（マイナ救急）に係る経費の徴収について
- 第6号議案 「全国消防長会会報」の電子化について
- 第7号議案 第78回全国消防長会総会の開催について
- 第8号議案 次期常任理事会の開催について
- 第9号議案 第77回全国消防長会総会決議について

【報告事項】

- 1 一般財団法人全国危険物安全協会に対する消防機関支援業務の更なる支援協力依頼について
- 2 「消防士の有害物質曝露に関する基礎的調査と適切な予防措置に関する研究」への協力について
- 3 令和7年度「救急車適正利用PRポスター」のデザインの決定について
- 4 「第28回日本臨床救急医学会総会・学術集会」及び「第34回全国救急隊員シンポジウム」の開催について
- 5 第34回アジア消防長協会総会の開催日程等について
- 6 第54回全国消防救助技術大会の開催について
- 7 一般財団法人全国消防協会消防団体保険事業の現状と推進状況について

【配布資料】

- 1 令和6年度消防行政相談について
- 2 第53回全国消防救助技術大会のご案内について
- 3 市町村の消防の広域化等の進捗状況について
- 4 一般財団法人全国消防協会の賛助会員の紹介について



【常任理事会の様子】

◆ 一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催

一般財団法人全国消防協会

令和7年5月29日（木）、広島市の広島国際会議場「コスモス」において、一般財団法人全国消防協会通常理事会を開催しました。

通常理事会における議案審議事項、報告事項などは、次のとおりです。

【議案審議事項】

- 第1号議案 令和6年度事業報告及び決算について
- 第2号議案 定時評議員会の開催について
- 第3号議案 臨時評議員会の開催について
- 第4号議案 第54回全国消防救助技術大会の開催について
- 第5号議案 賛助会員の加入について

【報告事項】

- 1 職務の執行状況の報告について
- 2 通常理事会の開催予定について
- 3 令和6年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び最優秀賞受賞者による発表の実施について
- 4 第53回全国消防救助技術大会のスローガン等について
- 5 令和7年度の消防団体保険事業の現状と推進状況について

【配布資料】

- 1 役員等の状況について
- 2 賛助会員の紹介について



【通常理事会の様子】

◆ 令和6年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び発表を実施

一般財団法人全国消防協会

令和7年5月30日(金)、広島市の広島国際会議場「フェニックスホール」において、令和6年度消防機器の改良及び開発並びに消防に関する論文の表彰及び発表を実施しました。

全国の応募総数114作品のうち、各地区支部での選考を経て推薦のあった作品は、機器の部59作品、論文の部19作品の合計78作品でした。

この中から、選考委員会での厳正な審査の結果、20作品が会長賞に入選されました。受賞者及び審査結果は、次のとおりです。

1 受賞者

(1) 機器の部 (16作品/33名)

受賞名	消防本部名	氏名	
最優秀賞	金沢市消防局	守田 祐斗	
秀 賞	尼崎市消防局	眞造 務	黒川 貴紀
		榊原 紗理奈	
	湖北地域消防本部	浦島 智彦	藪田 唯人
	相模原市消防局	大田 貴広	宮崎 慎吾
		萩原 亮	
	八女消防本部	野中 誠	
	嶺北消防組合消防本部	嶋田 誉之	
倉敷市消防局	石井 健		
優 賞	金沢市消防局	寺本 淳也	田中 昌彦
	松山市消防局	渡部 大輔	滋岡 健
		小松 友也	
	岡山市消防局	渡邊 敏規	福原 真治
		石川 晶悟	
	小松市消防本部	羽岡 雅史	吉田 誠志郎
	名古屋市消防局	上田 和孝	松本 航平
		多田 涼耶	
	鳥取県東部広域行政管理組合消防局	田中 秀和	長谷川 博紀
		森木 咲耶花	
岡山市消防局	繪面 暢利	日高 尊行	
	狩野 諒		
浜松市消防局	清水 聡史		
長崎市消防局	並川 晃士		

(2) 論文の部 (4作品/6名)

受賞名	消防本部名	氏名	
最優秀賞	福岡市消防局	横川 旭陽	梅津 翔平
		矢野 淳志	
秀 賞	倉敷市消防局	浅田 昌宏	
優 賞	小豆地区消防本部	堂山 大智	
	都城市消防局	岩下 拓斗	

【受賞者 (下線は表彰式出席者)】

2 発表者・発表作品

(1) 機器の部

金沢市消防局 守田 祐斗

「自動心臓マッサージ器使用可否測定器の開発について」

(2) 論文の部

福岡市消防局 横川 旭陽、梅津 翔平、矢野 淳志

「位置情報共有アプリを使用した山林火災防御について」



【記念写真撮影】

◆ 第48回全国消防職員意見発表会の開催及び審査結果

全国消防長会

令和7年5月30日（金）、広島市の広島国際会議場「フェニックスホール」において、第48回全国消防職員意見発表会を開催しました。

全国9支部から選抜された10名の消防職員により、消防業務に対する提言や取り組むべき課題などについて発表がありました。

発表テーマ及び審査結果は、次のとおりです。

賞 別	支部名	氏 名	消防本部名	発表テーマ
最優秀賞	東 北	鈴木 亮太	盛岡地区広域消防組合消防本部	未来の広報図 子供たちのサイン
優 秀 賞	関 東	柵木 景子	座間市消防本部	未来を掴む挑戦心
優 秀 賞	九 州	柳本 将吾	福岡市消防局	ユマニチュード®の実践 ～人生100年時代に向けて～
入 賞	東 海	森久 和昭	豊田市消防本部	「あってもしょうがない」を「なくてはならない」に ～あの意識の醸成～
入 賞	東近畿	高木 信	奈良県広域消防組合消防本部	救命医療の最前線
入 賞	近 畿	三好 結友	三田市消防本部	ほっトークしませんか？
入 賞	中 国	藤本 哲平	出雲市消防本部	隠れた被災者たちへ ～消防職員のベストパフォーマンスのために～
入 賞	四 国	谷本 翔	坂出市消防本部	きれいな消防署
入 賞	北海道	木戸 誠弥	とちち広域消防局	育児休業をもっと身近に
入 賞	関 東	石原 康平	桐生市消防本部	目線に込めて。

※ 優秀賞、入賞の記載順は、発表順です。



【意見発表（最優秀賞受賞者）の様子】



【記念写真撮影】

消防本部の動き

訓練

◆ 「山形市消防本部受援計画」に基づく訓練を実施

山形市消防本部（山形）

山形市消防本部では、令和7年5月14日（水）、災害時に指揮本部を設置する本部大会議室において、幹部職員、本部職員、事前指名職員を対象に、「山形市消防本部受援計画」に基づく訓練を実施しました。

この訓練は、同年4月1日に全面改正された同計画の確認と周知することを目的として実施したものです。

当日は、「本部管内で大規模地震が発生した。」との想定で、初動対応、指揮本部の設置、緊急消防援助隊の受け入れなどのシミュレーション訓練を実施し、各自の役割を確認しました。

今後も訓練を継続し、実効性の高い受援体制の構築を図ってまいります。



【訓練の様子】

研修

◆ 「ハラスメント防止研修会」を開催

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部（千葉）

佐倉市八街市酒々井町消防組合消防本部では、令和7年5月13日（火）、令和7年度昇任者を対象とした「ハラスメント防止研修会」を開催しました。

当日は、心のサポートオフィスの齋藤修司氏を講師としてお招きし、「ハラスメントとメンタルヘルスとの密接な関係について」と題して、ハラスメントが原因でメンタルヘルスに不調を来した職員の見分け方やその対応方法などについて、実例などを踏まえながらご講義いただきました。

また、ハラスメントを防止するために、基礎理解だけではなく、起こさないための注意点や多面的な対応ができる知識を身につけるほか、職場の心理的安全性を高め、ハラスメントが起こりにくい環境をつくる重要性について学ぶことができました。

今後も、ハラスメントなどの問題に対して常に関心を持つとともに、積極的な対策と誰もが働きやすい環境づくりに努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 救急協力者に感謝状を贈呈

桑名市消防本部（三重）

桑名市消防本部では、令和7年5月17日（土）、救急協力者の10人（2人欠席）に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、同年4月20日（日）、市内で開催されたトレイルランニング大会で発生した救急事案において、ランニング中に突然倒れ心肺停止となった男性に対して、駆け付けた救急協力者（ランナーなど）の10人が協力し、救命処置を行ったものです。

当日は、AEDを携行して警備を行うランニング救命士（消防職員）も救急協力者と連携して救命処置を実施したことから、感謝状贈呈式に併せて、優良職員表彰を行いました。

男性は、救急協力者10人の勇気ある行動と一連の連携した活動により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】



【優良職員表彰の様子】

◆ 松本山雅FCホームゲームにおいて火災予防広報を実施

松本広域消防局（長野）

松本広域消防局では、令和7年5月3日（土）、サンプロアルウィンで開催された「松本山雅FC」と「ツエーゲン金沢」のJ3リーグ公式戦において、火災予防広報を実施しました。

当日は、晴天に恵まれる中で「はたらく車大集合」と題し、高規格救急自動車と緊急消防援助隊出動車両である災害活動支援車I型の展示やはしご車の搭乗体験を実施しました。

また、消火器の取り扱い体験と防火衣の装着体験を行ったほか、住宅用火災警報器と感震ブレーカーに関する普及啓発活動を実施し、多くの家族連れで賑わい、子どもたちの笑顔が弾ける1日となりました。

今後も、未来の消防士を育む活動を継続し、地域の安全・安心の確保に努めてまいります。



【イベントの様子】

◆ 愛媛FCコラボ企画「消防職団員家族還元プロジェクト」を実施

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、令和7年5月6日（火）、株式会社愛媛FCのご厚意のもと、「消防職団員家族還元プロジェクト」を実施しました。

このプロジェクトは、家族の前で消防のPR活動を行うことで、「消防」という仕事への理解を深めていただくとともに、自身の職務に誇りを持ち、士気の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、消防職団員とその家族をホームゲームに無料招待していただき、試合前には、「消防miniフェスタ」と題し、13の消防ブースを出展したほか、試合中のハーフタイムには、消防職団員募集のパフォーマンスを行い、多くの観客に消防をアピールすることができました。

今後も、常備消防と非常備消防が連携し、災害に強いまちづくりに努めてまいります。



【PR活動の様子】

◆ 「はたらく消防の写生会」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁練馬消防署では、令和7年4月22日（火）から5月12日（月）までの期間中、管内の小学校15校が順次、「はたらく消防の写生会」を実施しました。

期間中は、児童約1,800人が参加し、児童たちは消防車が到着すると、「カッコいい!」、「初めて近くで見れた!」と、嬉しそうに消防隊員と消防団員を歓迎していました。

また、消火器の使い方や火災原因に関する防災講話を行った後に、小さな画伯たちが思い思いに消防車や凛々しい隊員・団員の姿を描き、防火防災意識を高めることができました。

この写生会では、たくさん子どもたちとの触れ合いや夢中になって描く姿を見たことで、署員も活力をいただきました。



【写生会の様子】

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0716）1ページ、機関誌「ほのお」2025年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」担当：企画課 中西

原稿データは、kikakoho@fcaj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-4500-6622 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 児嶋

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者からメールを返信させていただきます。

TEL：03-4500-6622 「週間情報」担当：企画課 木原

原稿データは、weekly@fcaj.gr.jpに送信願います。